

事業名 CD	0102010401	財産管理事業
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	100100	総務課
		整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	健全な行政活動によるまちづくり
	中項目	効率的・効果的な行財政運営
	小項目	行政改革の推進と行財政運営の充実
関連する個別計画等	0	根拠条例等 0
関連する事業	0	

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	公有財産の適切な維持管理 「公用車の削減」
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	公用車、公有地・建物等 H21年度末 公用車所有台数69台(特殊車両除く)
これまでの改善経過	平成19年度 市長車、助役車を廃止し、ハイブリッド車を充当。 平成21年度 公用車の効率的な共有使用を可能にするため、公用車鍵管理システムを導入し、空き自動車の実態を調査するとともに削減に結びつけるため、その経費を当初予算に計上したが、利便性の低下など一括管理は現状そぐわないとの意見が課長会で出され、計画を取り止め減額補正を行った。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他(□) 公用車の削減にあたり各課、各車の利用実態を調査し、効率的な運用を図るとともに車両台数削減に向けての方向性を確立する。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	車両台数を削減する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	16,623	11,369	12,785
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	156	137	1,629
	一般財源	16,467	11,232	11,156
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	1.00	1.00	1.00
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	6,901	6,909	6,823
D	総事業費(A+C) (千円)	23,524	18,278	19,608
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	1 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	公用車削減台数	(台)	2	0	0
	公用車購入台数(新規購入)	(台)	0	1	1
成果指標	増減数	(台)	-2	1	1
効率指標					

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 手段を考案するが、実行・実績に結びついていない。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 1台増であり、上がっていない。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない なし
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	(1) 中長期的 (2) 23年度 集中管理に移行し、効率的な運用を図り車両台数の削減に向けての方向性を確立することができなくなったため、削減実施計画等を策定し、年次的な削減目標を定める。
	(3) 22年度
21年度の改善計画	公用車の効率的な運用及び削減を可能にするため、分散管理から集中管理に部分的移行を図る。(公用車鍵管理システムの導入)
21年度の改善結果	上記計画の取り止めにより成果なし
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	
課長所見	公用車の適正配置、効率的な移動により公有財産の適切な維持管理を図るため公用車の保有台数を削減する。